

女子バスケットボール部がインカレ6連覇を達成!

本学女子バスケットボール部は「第74回全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)」において、6年連続大学日本一の快挙を成し遂げました。女子バスケットでのインカレ6連覇は57年ぶりの偉業になります。

決勝戦の対戦相手である白鷗大学には今年度それまで関東大学女子バスケットボールリーグ戦など公式戦で1勝4敗の戦績でした。今シーズン、本学選手のケガなどで非常に厳しいチーム

状態が続いていましたが、シーズン終盤に向けて調子を上げ、白鷗大学の決勝戦は77-52で勝利することができました。

本大会は日高哲朗監督が率いる最初のインカレとなり、「インカレ優勝」という目標を掲げ、ウキウキ・ワクワクマインドでチーム一丸となって大会に挑みました。新体制となった本学女子バスケットボール部監督としての走り出しにふさわしい結果となりました。



第74回全日本大学バスケットボール選手権大会結果

- 優勝：東京医療保健大学 (6年連続)
- 準優勝：白鷗大学
- 3位：愛知学泉大学
- 4位：筑波大学

個人賞

- 最優秀選手賞：ジョシュア ンフォノボ テミトベさん (医療情報学科4年)
- 優秀選手賞：古木 梨子さん (医療情報学科3年)
- 優秀選手賞：岡本 美優さん (医療情報学科3年)
- 得点王 (52点)：ジョシュア ンフォノボ テミトベさん (医療情報学科4年)
- アシスト王 (18本)：古木 梨子さん (医療情報学科3年)
- MIP賞：林 真帆さん (医療情報学科3年)

第89回皇后杯 ファイナルラウンドに進出!

2022年12月15日(木)に国立代々木競技場第二体育館で「第89回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会」のファイナルラウンド(準々決勝)が行われ、本学女子バスケットボール部は、Wリーグの強豪である富士通 レッドウェーブと対戦しました。大学勢で唯一の出場を果たした本学は、36-31のリードで前半を折り返しましたが、最終スコアは67-69で惜敗。最後はプロの壁を感じる結果となりました。



チアダンス部Jasmineも応援に駆け付け、パフォーマンスを披露しました。

東京医療保健大学 公式SNSのお知らせ

Instagram

各キャンパスの様子や周辺スポットの情報、大学の取り組みを紹介しています。



Twitter

イベント情報やニュース、本学に関するメディア情報等を発信しています。



読者アンケート募集中! /

本学学報「KOKORO」をご覧いただきありがとうございます。今後の紙面充実化を目指し、皆様からのご意見・ご感想を募集しております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



アンケート回答フォーム



KOKORO

No.36  
WINTER/SPRING  
2023

01 【巻頭特集】 これまでのコト、これからのコト。  
学生メッセージ

05 【巻頭特集】 そだてたいヒト、なりたいヒト。  
学長×学生 座談会

07 気になるあのひとにインタビュー  
～あのひとをたずねて～

09 2023 WINTER/SPRING  
TOPICS &  
INFORMATION

11 THCU  
NOW!

Shuka Chiba

Arisa Hanawa

Minori Tsukada

Haruna Noguchi

Rinmu Tsukihara

Hazuki Kato

Kaho Matsuura



# 学生メッセージ

これまでのコロナ、これからがコロナ。

Students Message

それぞれの思いを胸に、社会へ巣立っていく4年生のみなさん。自分の成長を、先輩へのアドバイスを、将来の希望を胸に語っていただきました。大切にしている思い出の品とともにご紹介します。

## 医療保健学部 看護学科

Faculty of Healthcare

埴 愛梨彩さん

(医療法人財団 青溪会 駒木野病院 内定)

Q1 印象に残った授業や、そこで自分が成長できたと感じた学びを教えてください。

グループワークの授業で、相手の意見を聞きながら自分の意志も伝え、見解をすり合わせる経験を積み重ねることで、コミュニケーション能力を高めることができたと思います。

Q2 大学生活を終え社会に出ていく先輩として、在学生へのメッセージを聞かせてください。

授業や実習に一生懸命に取り組むことはとても大切ですが、時には休むことも必要だと思います。私は大学の仲間と話したり、協力したりすることで、心や体の休息を取りました。

### 思い出の品

仲のいい4人組で、大学のナース服を最後に着た時に撮った記念ショットです。このナース服を見ると、演習や実習をみんなで支え合ってきた、かけがえのない時間が甦ります。



グループワークを大切に!



Faculty of Healthcare

## 医療保健学部 医療情報学科

Faculty of Healthcare

塚田 美乃里さん

(富士フィルムメディカルITソリューションズ株式会社 内定)

Q1 メディカル系のIT企業に就職するそうですが、会社での目標を聞かせてください。

医療業界の様々な課題に、ITの新しい考え方や技術で応えられる人材になることです。自分の力で、これまでお世話になった方々に、“恩返し”がしたいと思っています。

Q2 大学で学んだ4年間で、自分が成長したと感じていることを教えてください。

入学前はほぼゼロだった医療と情報の知識やプログラミングなどの技術が身に付いたことです。また、何事にも積極的に関わることでできる性格になれたと感じています。

### 思い出の品

卒業研究で使ったスマートウォッチです。私は主にストレス値を測り、今後の予測と対策について研究しました。お風呂に入る時以外はいつも付けていましたから愛着があります。



## 医療保健学部 医療栄養学科

Faculty of Healthcare

千葉 柊果さん

(児童養護施設 内定)

Q1 管理栄養士としての目標と、その目標を達成するために頑張ってきたことはありますか。

子どもたちが心身共に健康に過ごせるよう食から支えることが目標です。児童養護施設で調理のアルバイトを経験することで、調理技術を磨きながら子どもたちとの関わりを学びました。

Q2 本学に入学して、4年間を通して自分が成長したと感じたことを教えてください。

目的意識を持って物事に取り組むようになったことです。学生生活の約半分はコロナ禍の影響を受けましたが、その中でも新たな目的に挑戦でき、充実した大学生活を送れました。

### 思い出の品

食育ゼミに入り、子どもたちに野菜を食べてもらおうと、フェルトで作った立体的な野菜カルタです。遊びながら楽しく野菜に親しむ子どもたちの姿は、忘れられません。



新しい医療ITで問題解決を!



Faculty of Healthcare

キャリアを  
磨き続けたい。



Higashigaoka / Tachikawa Faculty of Nursing

## 東が丘・立川看護学部 看護学科 臨床看護学コース

Higashigaoka / Tachikawa Faculty of Nursing

野口 春菜さん

(国立精神・神経医療研究センター病院 内定)

**Q1** ゼミのグループリーダーだったそうですが、一番印象的だったことは何ですか。

成人・老年看護学領域ゼミで、仲間や先生方と共に、コロナ禍の看取りとそのケアに焦点を当て取り組んだ卒業研究です。みんなで協力し積み重ねた努力や成果は一生の宝です。

**Q2** 卒業するにあたって、THCUを選んで本当によかったと思うことを聞かせてください。

東が丘キャンパスだったので、臨地実習の経験が多く積めたこと、大学院卒業生のNPの授業が受けられたことです。看護師としてのキャリアを具体的に考えるようになりました。

### 思い出の品

ゼミの全員で作ったオリジナルスクラブです。「妥協しない」を大命題に、終末期看護をテーマとして、教員2名、学生8名のメンバーで奮闘し続けた絆の象徴と言えるものです。



患者さんの心を  
尊重したい。



Chiba Faculty of Nursing

## 千葉看護学部 看護学科

Chiba Faculty of Nursing

月原 鈴夢さん

(独立行政法人 地域医療機能推進機構 船橋中央病院 内定)

**Q1** 実習の時に、ご自身が気をつけていたことや学んだことを教えてください。

患者さんとじっくり話す時間が持てなくても、短時間の関わりを有意義にすることが大切だと学びました。友人と話す時も、会話の内容だけでなく表情の変化などにも注目しています。

**Q2** THCUで学んだ中で、いちばん印象に残っていることは何でしょうか。

在宅看護学実習で、医療を必要としながら自宅で暮らしていることは同じでも、「望む生活」はそれぞれ異なり、看護師はそれを尊重しなければいけないと実感したことです。

### 思い出の品

入学時に、母から買ってもらったリュックです。実習服やパソコン、母の作ったお弁当を入れて通学し、無事一緒に卒業できました。愛着が詰まっているので、これからも大切にします。



## 東が丘・立川看護学部 看護学科 災害看護学コース

Higashigaoka / Tachikawa Faculty of Nursing

加藤 葉月さん

(独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター 内定)

**Q1** 看護師としての目標と、それを達成するために努力してきたことを教えてください。

「災害現場でも活躍できる」「患者さんに安心感を与えられる」「NPの資格を取る」の3つを達成するため、各授業での学修を完遂できるよう反復学習に力を入れてきました。

**Q2** 大学の授業や実習などを乗り越えるための、在校生へのメッセージをお願いします。

テストや実習、研究、国家試験と大変なことが次々と続きますが、焦りやマイナスな気持ちは禁物です。困難なことを試練と受け止め、せっかくなら今の瞬間を楽しみましょう。

### 思い出の品

ACT(アクト)救急救命サークルの仲間の写真です。学園祭でAEDの使い方を実演したり、マラソン救護など外部活動に参加したりと、災害・救急医療の実践で役立つ方法を学びました。



NP目指して  
がんばります。



Higashigaoka / Tachikawa Faculty of Nursing

## 和歌山看護学部 看護学科

Wakayama Faculty of Nursing

松浦 花穂さん

(和歌山生協病院 内定)

**Q1** 入学時から振り返って、卒業する自分が成長したと感じることを教えてください。

看護の知識は身に付いたと思います。コミュニケーション能力については、ただ話ができるだけでなく、相手のことを考えた発言や非言語的コミュニケーションも学べました。

**Q2** ご自身が大学生活で重要だと思うことについて、在学生にメッセージをお願いします。

毎日、勉強や実習で大変だと思いますが、国家資格取得に向けてコツコツと勉強することでしょうか。結果が合格点に満たなかったら0点と同じ、合格すれば満点と同じです。

### 思い出の品

大学生生活、課題、実習を共にした大切なものです！実習ではこの聴診器をポッケに入れて病棟をまわり、緊張しすぎて自分の心臓の音の方が大きくなってちゃんと音を聞けなかったことが印象に残っています。



努力の積み重ねを  
千カラシ!



Wakayama Faculty of Nursing



そだてたいヒト、なりたいヒト。

# 学長 × 学生 座談会

THCU Symposium

大学生活をより有意なものにするため、学長と1年生との座談会が五反田キャンパスの一室で行われました。学生の皆さんはどんな未来を思い描いているのか、大学はその夢の実現のために何ができるのかなどを中心に語り合いました。

## 学生の未来への熱い想いに 大学が向き合い、できること。

### それぞれの想いを胸に 学長座談会に参加

**亀山:**今日は、1年生の皆さんとの座談会ということで、フレッシュな視点で忌憚のない意見交換になることを楽しみにしています。まず、なぜ皆さんは、この座談会に応募したのかを聞きたいですね。

**鷹野:**私は小学生の時から小中学校の給食を管理する栄養教諭を目指していたので、学長や他学部の学生の話聞いて、視野を広げたいと思い応募しました。

**亀山:**小さい頃から明確に、なりたい職業を持っていたとは素晴らしい。医療栄養学科の齋藤先生たちは、群馬県で農作物を育て

「食の安全」の問題に取り組んでいるし、三舟先生は「古代食」を研究しています。栄養学もいろいろな切り口があるので、自分に合った研究を選んで専門性を高め、磨きをかけてください。

**桑高:**私はチアダンス部の部員として、皆さんにご支援いただいた感謝の気持ちを伝えることと、コロナ禍で今後の大学生活がどうなるのかをお聞きしたいです。

**亀山:**女子バスケットボール部が皇后杯に出場した時に、ハーフタイムでチアダンス部の皆さんの演技を見ました。見事でしたよ。

**桑高:**あの機会をいただいたのは本当に嬉しかったです。幕張メッセで行われる全国大会への出場を決めることができたのも、

応援してくれた皆さんのおかげです。

**森茂:**私は、自分からというより担当の先生から「森茂さんやってみない?」って声をかけていただいたからなんです。

**亀山:**先生に背中を押されたとしても、決断したのはあなた自身です。自分で応募したのと同じことですよ。

### 個性や環境に合わせ 多様な学びを提供

**亀山:**皆さんは、何が学びたくて入学したのですか。ぜひ聞かせてください。

**鷹野:**医療系総合大学として、看護学科や医療情報学科もあるのでいろんな個性が集まり、その個性を生かしてチーム医療が学べる大学だと思ったからです。

**亀山:**今、大学の在校生が3千人を超えていて、地域性も違います。そんな“多様性”に対して、担当教員が皆さんの考えや悩みを親身になって汲み取り、ひとり一人に寄り添うためにどうすればいいかを、教職員で話し合っています。それができれば、大学としてチーム全体の力もさらに増しますからね。

**桑高:**すぐにコロナ禍が収束することはないと思うので、私は看護職を目指す者としてはもちろん、チアダンス部に所属するチアリーダーとして、コロナ禍でもコミュニケーションができる方法を学びたいです。チアダンスは部員同士が協調しなければ成り立たないのですが、マスクをしていると表情が読み取れず、アイコンタクトが頼りでした。

**亀山:**今後は、チアダンス部が活躍できるような機会も含めて、学生同士や教員とも、もっとコミュニケーションできる環境を作っていきたいですね。

**森茂:**私は助産師を目指して入学しました。ただ最近気づいたことなのですが、私たちの世代は、コロナ禍で積極的に行動する人が少ないと感じるので、自信を持てるよう、知識と実技を身に付けたいと思います。

**亀山:**今日、この座談会に参加したのは、あなたの望む未来への一歩を踏み出したということですね。

### 国際感覚を身に付け グローバル時代に対応

**亀山:**グローバルな時代になり、国際感覚が重要になるのは間違いありません。本学でも、コロナ禍の中でも、できるだけ国際的な感覚を身に付けられるよう、いろいろなことを考えています。

**桑高:**英語を学ぶことは最も大切だと思います。コロナ禍が続く中で、外国人とのコミュニケーションに関する学びは、どのような方向に進むのでしょうか。

**亀山:**オーストラリア、ハワイや台湾などには提携している大学がありますが、今はリモートでの短期研修のような形になっているので、これから実際に外国へ行くなどの形で再開しないとはいけません。

**森茂:**さらに自分の中で世界を広げたい、いろいろな分野の経験をしたいと考えています。視野を広げて、選択肢を増やす大学であるといいなと思っているのですが。

**亀山:**さまざまな公開講座を考えています。また、隣接するNTT東日本関東病院の国際診療科で働いている先生の中には、イギリスの総合診療医・家庭医や、オーストラリアの家庭医を経験してきた先生がいらっしゃる。その方々に、臨床教授のような形で特別講義をしていただいています。

**鷹野:**コロナ禍で、国際交流も制限されてきましたが、その対策はお考えですか。

**亀山:**私たち医療従事者が交流するのは、アメリカやヨーロッパは少なく、主流は中国や東南アジアの方々です。今はまだ渡航制限がありますが、台湾を含めて中国、東南アジアとの関係を強めていきたいと思っています。

### 新しい学びの方法で コロナと共生していく

**森茂:**先ほどからコロナ禍の中で、どうやったらもっといい学びができるかの話が出ていますよね。私自身はリモートワークはこれからも必要だと思うのですが、ぜひ、実際に対面での授業や講演を増やしてほしいです。

**桑高:**英語の授業も、対面で発音したり、会話をしないと覚えられないので、リモートではなく対面授業が増えればいいと考えています。

**亀山:**対面しないとわからないことがありますよね。新年度からの授業は、教務委員会の先生方に見直しをしてもらって、新たな学びの様式にします。

**鷹野:**1年生の合同研修が合宿型に戻れば、

いろいろなキャンパスの生徒と交流ができます。個々のキャンパスで独立はしていますが、東京医療保健大学として、きちんと繋がるいい機会なのかなと思います。

**亀山:**医療保健系以外の一般の大学は、かなり早くから感染対策を緩めているようですね。しかし私たちのような医療保健系大学は、実習で病院に入ります。病院で働いている方々も、自分たちがウイルスを持ち込んで、患者さんに感染を起してはいけないという至上命題がある。そこで私たちが果たさなければいけない役割も当然あり、皆さんに不自由を強いたこともあるので、心苦しい。それを取り戻すように必死に考え、感染対策との両立を目指していかなければいけないと思っています。最後になりますが、私たち大学は全力で皆さんを支援しますので、皆さんも自分で考え、新たな学びを身に付け、将来に役立てていただきたい。本学でしっかり学び、ぜひ皆さんの夢を実現してください。



東京医療保健大学  
学長  
亀山 周二



医療保健学部  
看護学科(1年生)  
森茂 花奈さん



医療保健学部  
看護学科(1年生)  
桑高 美咲さん



医療保健学部  
医療栄養学科(1年生)  
鷹野 莉喜さん

# ～あのひとをたずねて～

東京医療保健大学で今、活躍している人、注目したい人をご紹介します。



## FILE No.09

### 地元和歌山が大好きな、 多芸多才なエンターテイナー！

和歌山看護学部 看護学科(2年生)

#### 谷為 光祐さん

4代目和歌山支部学生会会長(キャンパス長)を務める谷為くんは、学内外問わず「人と接すること」を目的にアルバイトにも意欲的。学校行事ではリーダー的な役割を務める一方、得意のギター演奏で弾き語りを披露し、人を楽しませる姿はまさにエンターテイナーです。

#### ▶今積極的に取り組んでいることは何ですか？

看護師になる夢を叶えるため、講義では各領域での看護の考え方や必要な手技の違いについて学び、実習・演習では基礎的な技術習得はもちろん、コミュニケーションの重要性も学んでいます。

中でも積極的に取り組んでいることは、グループワークでの発言です。現在の臨床現場では、チーム医療と呼ばれる他職種連携、カンファレンスや看護師間、看護師と患者間でのコミュニケーションがとても大切です。そんな中、自分の考えや意見を言葉にすることが出来ないようではいけないと考え、グループワークでの発言を積極的に行って、その練習をしています。

#### ▶キャンパス長としてどのような活動をされていますか？

和歌山看護学部は、小規模であるからこそ、教職員の方々や先輩後輩問わず、学部仲間同士が非常に仲良いということが特徴だと思います。医愛祭では、2年生が中心となりながら、1年生も積極的に活動し、教職員・先輩方もとても楽しんでくれていて、その笑顔が思い出に残っています。

こんな笑顔の絶えないキャンパスですが、まだ創立5年目の発展段階のキャンパスで

す。このキャンパスが1歩ずつでも成長し、現在の高校生が少しでも本学に来たいと思えるような環境づくりを目標に、学生主体の行事等で、全体の総括を行うのが、キャンパス長の主な活動になります。

#### ▶谷為さんの考える東京医療保健大学の魅力は何ですか？

実際に臨床現場を経験した先生方による講義と、実際に働かされている医師や看護師の方々による講義が魅力的でした。これまで医療職を目指してはいたけれど、医療の現場を直接見たことはない我々にとって、凄く良い刺激になりますし、より明確に「夢」が「将来の自分」になります。

コロナ禍のオンライン講義であっても、質の高い授業を受けることができ、逆にオンラインだからこそ周りに気を遣わず資料に書き込みを行ったりできるので、この講義の質の良さが、魅力なのではないでしょうか。



①ダンスサークル「infir」の大ファン！

教えて！

#### あなたの“ハマっていること”

##### 弾きはじめたら止まらない！

エレキギターにハマっています！勉強の合間にヘッドホンを付けて弾いていると、ライブ感覚になってすごく息抜きになります。楽しくなりすぎて歌を歌い始めると、親に自室のドアを閉められるのは少し悲しいですが…。



## FILE No.10

### みんなに感動を与える 管理栄養士を目指しています！

医療保健学部 医療栄養学科(2年生)

#### 亀井 愛さん

期待値を超えた驚きや感動を与えるためには、本人も気づかないセカンドリーニーズを意識すること。アルバイトで学んだこの体験は、管理栄養士を目指す亀井さんにとってかけがえのないものです。クラブ・サークル委員長としても、このマインドを大切に活動中です。

#### ▶積極的に取り組んでいることは何ですか？

症例検討をする際に、ライフステージ別の特徴を理解することは必要不可欠です。そのため、それぞれに合った栄養量や食事の形態を学習できる「応用栄養学」や「応用栄養学実習」に積極的に取り組んでいます。実習では、各ライフステージ別の食事を作り、実際に食べることを通して、気づきや発見も多くあります。対象者の立場になって献立作成をするかしないかは大きな差があると思うので、いつでもその方に寄り添った気持ちの温かい管理栄養士になるために励んでいます。

#### ▶課外活動は何をされていますか？

新たな自分を見つける場所として、スターバックスコーヒーでのアルバイトを始めました。人とのつながりを大切にしている会社なので、管理栄養士として必要なコミュニケーション能力を身に付けられます。基本的には朝に勤務をすることが多く、常連のお客様が多くいらして下さる時間帯なので、顔と注文内容を覚えておき、直ぐに提供できるように努めています。一杯のコーヒーを通して、誰かの居場所を作ること、もしかしたら自分自身の居場所でもあるのかなと感じています。

#### ▶亀井さんの考える東京医療保健大学の魅力は何ですか？

学生と先生の距離が近いことです。大きな大学でないからこそ、アットホームな雰囲気でも温もりを感じられます。私自身も、課題やレポートの相談に、先生の研究室を尋ねることがあります。大学は主体的な学びが大切ですが、分からないことを直ぐに聞ける存在が近いことは大きな強みだと感じています。また、クラスアドバイザーという存在も魅力的です。小・中・高までは、担任の先生の存在が当たり前でしたが、多くの大学はこのような制度がないと聞きます。私のクラスは、学期前に必ず面談があります。進路のことや悩み、勉強のアドバイス

など、真摯に話を聞いてくださるので、安心して学生生活を送ることができているのだと思います。



①試行錯誤で完成した学校給食の献立

教えて！

#### あなたの“ハマっていること”

##### ふわふわのミルクにほっこり♪

アルバイト先でラテアートをすることにハマっています！まだまだ自己満足の領域ですが、いつかはお客様に提供できるように頑張っています。家にエスプレッソマシンが欲しいな…そんなことを思う今日この頃です。



TOPICS

## 01 THCU 年間学生イベント紹介

THCUで行われる学生イベントの一部を紹介します。  
新型コロナウイルス感染症の全世界的なパンデミック以降、東京医療保健大学における各種課外活動も制限下の実施を余儀なくされましたが、感染対策等を継続しつつ新しい方策等も取り入れ、各種活動が再開されています。  
次年度も年間を通して様々なイベントを行いますので、気になるイベントには是非参加し、大学生活をenjoyしましょう。



### スポーツ大会

2022年度に3年ぶりにスポーツ大会を開催しました。お揃いのTシャツを作成する有志があるなど競技自体はもちろん、豪華賞品が用意された競技後の抽選会等、大いに盛り上がりました。



### ハロウィンイベント

ハッピーハロウィン！ハロウィンの日は学生が仮装をして休み時間に現れます。"Trick or Treat"の合言葉でお菓子がもらえるかも？ハロウィン気分を味わえるイベントです。

▶ THCU学友会  
Twitterでも情報発信中!



### 新入生合同研修

2022年度は3年ぶりに新入生合同研修を開催しました。学部混同のグループワーク等も行われ、首都圏では4学部が揃いました。良い交友関係構築のきっかけになりました。



### セタイイベント

毎年笹が短冊でいっぱいになっている人気のイベントです。各キャンパスに設置された笹に学生が思いの願ひ事を短冊に書いて飾っている様は壮観です。願ひ事の一部は学生会が叶えます。



### 医愛祭(大学祭)

2022年度の医愛祭は、東京は世田谷CP、和歌山は雄湊CPで行われました。演奏やダンスパフォーマンス等、クラブ・サークル等の発表や各学科の学科企画等で大いに盛り上がりました。

TOPICS

## 02 ケアコム農園祭における社会貢献活動と ケア環境研究所・玉村圃場での産業DX農業体験授業



農業体験後の記念撮影



農業体験報告会

2022年度7月に包括的連携協定を締結した株式会社ケアコム様主催の「第9回ケアコムの農園祭」が令和4年12月4日に開催されました。同社群馬工場にて3年ぶりの農園祭には、本学医療栄養学科3年生5名の学生が参加し、収穫したさつまいもでパンとポタージュを調理し、参加された地域の方々に提供いたしました。「食」を通じた玉村町の方々との交流は、本学のビジョンに明記されている「地域と連携・共生し、社会に貢献」を体現するものであり、医療栄養学科の学生諸君も貴重な体験ができた多くの感想をいただきました。

同日午後には「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」のテーマの一つである「デジタル農業を用いた食育ツール開発」の一環としてケアコム所有の農場(玉村圃場)での農業体験を引き続き行いました。本プログラムは、収穫体験前に「成長段階をコントロールする植物ホルモン」「土中での微生物の働き」について講義を受けた後に、学生自らが収穫を行う農作業体験授業です。大学の講義で学ぶ「栄養学」をより深めることを目的としており、机上の授業では経験できないリアルな体験価値を提供することができました。帰りのバスに積みきれない程収穫した野菜は、完全無農薬で栽培されているため甘味や風味が豊かで、各々が様々な調理法で堪能したようです。

後日、学生の自発的な発案による「農業体験活動報告会」を実施し、理事長、学長、副理事長、副学長に収穫した野菜を使った試食とプレゼンテーションによる報告が行われました。

TOPICS

## 03 伝説の校長講話 ～渋幕・渋渋は何を大切にしているのか～ 発刊のお知らせ

「共学トップ校」と呼び声が高い、渋谷教育学園幕張中学・高等学校、同渋谷中学・高等学校を運営する学校法人渋谷教育学園の理事長 田村哲夫氏は、本学園の理事長も兼任しております。

渋渋・渋幕の教育の本質は、「自調自考」の理念のもとにあるリベラル・アーツ教育にあり、その象徴が校長講話です。87歳現役学園長が半世紀近く続けるこの講話は、国内外の思想や歴史、科学の発展などを縦横に語り、大人が聞いても新たな発見に満ちています。

前半は、大人の胸にも響くこの「魂の授業」を再現。後半は読売新聞に全33回連載された「時代の証言者」を大幅加筆し、田村理事長が教育界に吹き込んだ新風と奇跡を振り返ります。



書籍情報

伝説の校長講話～渋幕・渋渋は何を大切にしているのか～  
田村哲夫 著/古沢由紀子 聞き手  
中央公論新社(2023年1月19日発売)